

報道関係各位

平成23年 6月30日
株式会社 クロス・マーケティング
(東証マザーズ3629)

中国で日本製の食品・飲料を購入したくない人が約7割 震災による原発事故後に低下した、“メイドインジャパン”への信頼度

－「原発事故後の日本製品に対する中国での購入意向調査」－

株式会社クロス・マーケティング(本社:東京都中央区 代表取締役社長:五十嵐 幹)では、中国の北京・上海・広州在住で20～40代の男女900人を対象に、「原発事故後の日本製品に対する中国での購入意向調査」を実施し、本日そのレポートの一部を無料公開いたしました。

■調査背景・目的

2011年3月11日に発生した、福島第一原子力発電所での事故発生後に実施された緊急検査で、食品衛生法の暫定規制値を超える放射性物質が検出された一部の農作物や水産物は、出荷制限や摂取制限が行われました。その後、安全性が確認されたものに関しては制限が解除されているものの、原発に関する多くの情報が飛び交う中で、消費者は生活に大きな不安を抱えており、風評被害を拡大する要因のひとつとなっています。

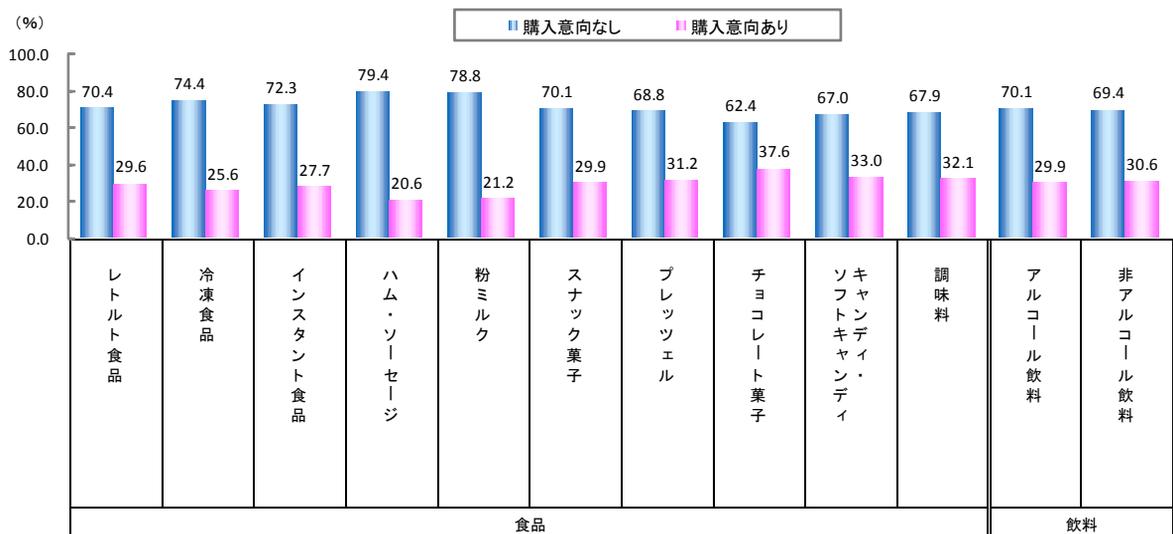
更に風評は国内にとどまらず、工業製品や食品以外の品目へも拡大する中、本調査では、日本にとって最も大きな輸出相手国である中国、中でも大都市に住む人たちが、原発事故後の日本や日本製品をどのように捉え、それが購買行動にどのような影響を与えているのかを明らかにします。

また、この調査結果の詳細レポートは、本日より定価48,000円で販売いたします。詳細につきましては、弊社HP <http://www.cross-m.co.jp/report/report.html?id/6019/> をご覧ください。

■調査結果トピックス

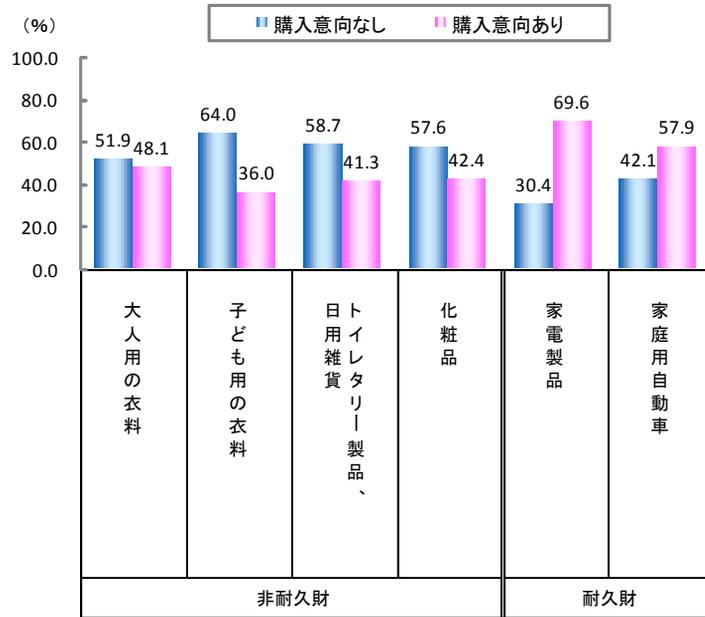
- ✓ 中国における日本製品の購入について、食品／飲料カテゴリーでは、全ての製品で「購入意向なし」が「購入意向あり」を上回る。とくに、「ハム・ソーセージ(79.4%)」、「粉ミルク(78.8%)」は「購入意向なし」が8割近くにのぼる。<図1>
- ✓ 生活用品カテゴリーで、家電製品に関しては「購入意向あり」が大幅に上回るものの、約3割に購入意向がない。<図2>
- ✓ 仕事のために来日したい人は26.2%と低いものの、観光のために来日したい人は58.9%と半数を超える。<図3>
- ✓ 仕事・観光ともに安心して来日できるようになるまでは、3年未満と回答した人が約2割。<図4>

<図1> 日本製品の購入意向【全体値:食品／飲料カテゴリー】



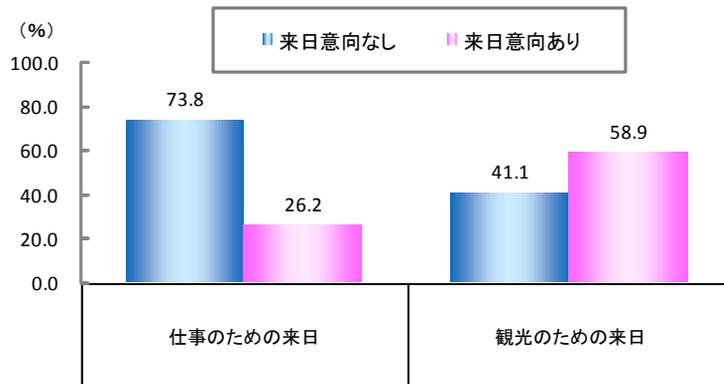
購入意向なし: 「購入したくない」、「どちらかと言えば購入したくない」の合算値
購入意向あり: 「購入したい」、「どちらかと言えば購入したい」の合算値

<図2> 日本製品の購入意向【全体値：生活用品(非耐久財/耐久財)カテゴリー】



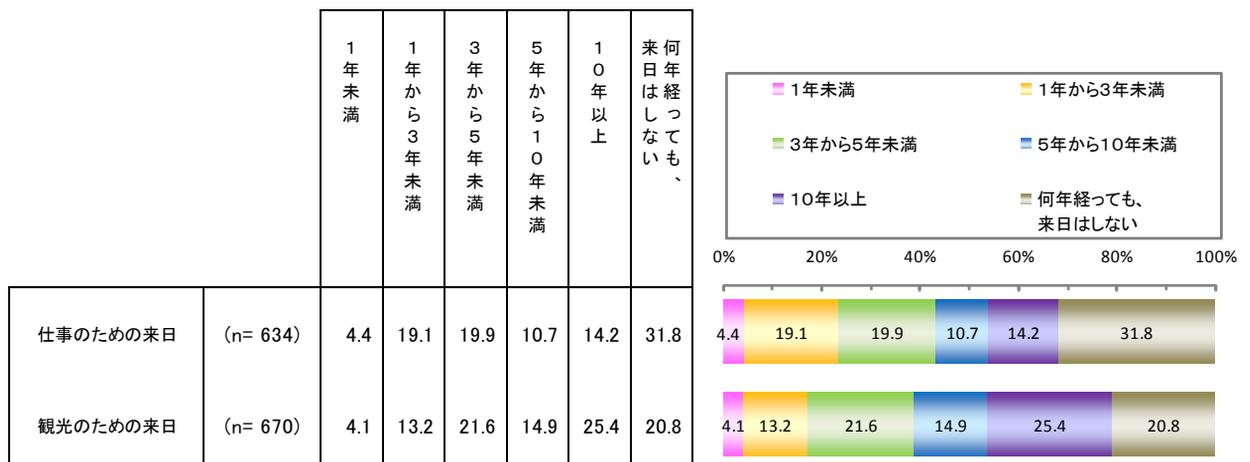
購入意向なし：「購入したくない」、「どちらかと言えば購入したくない」の合算値
購入意向あり：「購入したい」、「どちらかと言えば購入したい」の合算値

<図3> 仕事、観光のための来日意向



来日意向なし：「来日したくない」、「どちらかと言えば来日したくない」の合算値
来日意向あり：「来日したい」、「どちらかと言えば来日したい」の合算値

<図4> 安心して来日できるようになるまでにかかる時間



集計ベース：それぞれの目的について、「来日したくない」と回答した人

■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ(ePanel アンケートモニター使用)
調査対象 : 北京、上海、広州在住の20~40代の男女
調査期間 : 2011年6月1日(水)~2011年6月10日(金)
有効回答数 : 900サンプル

■調査レポート販売と割引キャンペーンについてのお知らせ

詳細の調査レポートについては、本日6月30日より、弊社が運営するレポート販売サイト「Cross Shop」内
(http://www.cross-shop.jp/products/detail.php?product_id=607)で、定価48,000円で販売しております。

尚、6月30日~9月30日の期間、レポートを購入された方を対象に、『中国におけるオンラインサーベイ』実施における割引
キャンペーンを実施致します。

【調査レポートと割引キャンペーンに関するお問い合わせ先】

株式会社クロス・マーケティング 担当 : 来條 貴史(らいじょう たかし)
TEL : 03-3549-0230 FAX : 03-3549-0221 E-mail : sales-inq@cross-m.co.jp

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
所在地 : 東京都中央区銀座8-15-2 銀座COMビル6F
設立 : 2003年4月1日
公開市場 : 東証マザーズ(証券コード:3629)
代表者 : 代表取締役社長 五十嵐 幹
事業内容 : マーケティング・リサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当:大島 理香(おおしま りか) TEL : 03-3549-0603 FAX : 03-3549-0232
E-mail pr-cm@cross-m.co.jp

〈引用・転載時のクレジット表記のお願い〉

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

〈例〉「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」